

国立病院機構南岡山医療センターにおいて
2024年12月9日から2025年5月31日の間に
当院4階病棟で結核治療を受けられた方へ

「外国出生患者を知り、結核治療中の療養生活を支えるための取り組み」へのご協力をお願い

研究機関名 国立病院機構南岡山医療センター

研究機関長 井上美智子

研究責任者 国立病院機構南岡山医療センター 看護部 中條正子

1. 研究目的

2024年度結核入院患者27名のうち、6名が東南アジア出身の外国出生患者さんでした。外国出生患者さんは長期に渡る治療・療養生活において、言葉の壁によるコミュニケーションの難しさ、食習慣の違いによる食事摂取量の減少といった問題を抱えています。この度、患者さんの背景や思いを知るために母国語による聞き取り用紙の作成、栄養管理室との協働による母国料理の提供を開始しました。その効果を確認し、外国出生患者さんの療養生活を支える援助について活かしていきたいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

この研究は2024年12月9日～2025年5月31日の間に南岡山医療センター4階病棟で結核治療を受けられた外国出生の患者さんを対象としています。

2) 研究期間

研究機関の長許可後～2026年3月31日

3) 研究に用いる情報の種類

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し使用します。

・食事摂取量、入院中の経過に関すること等

4) 外部への資料・情報の提供

この研究に使用する情報は、南岡山医療センターにおいて本研究にのみ用いられます。

5) 試料・情報の保存、二次利用

この研究で用いた情報は研究の中止または研究終了後5年間、南岡山医療センター4階病棟スタッフステーション内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年7月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者:西谷将巳

電話:086-482-1121(平日:8時45分~17時15分)

ファックス:086-482-3883